

津島ロータリークラブ主催の「講演会」で川手校長先生が講演を行いました

令和6年11月2日（土）

11月2日（土）に津島市ロータリークラブ主催の「講演会 郷土の芸術家を知る、近年100年の再発見！」という催しがありました。その一環で、本校の川手文男校長先生が、津島神社社務所2階南雲の間において講演を行いました。タイトルは「学校教育とART」、本校卒業生で世界的に有名な画家である荻須高德さん、真野広さん、横井照子さんにフォーカスして、彼らが在学中に残した作品について、実物の画像を投影しつつ説明しました。



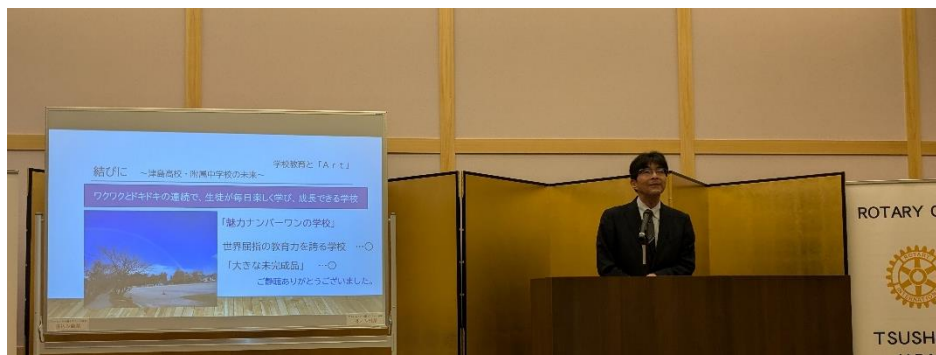
特に横井照子さんが詩歌だけでなく、他の生徒と協働して「かまきりの卵塊観察」というテーマで研究していたことは大変興味深い事実でした。そこにはかまきりの卵の描写も添えられており、横井照子さんが多くの課題に興味関心を抱いていたことが垣間見えました。これこそまさに、探究活動です。

最後に、川手校長先生は、大好きなウルトラセブンの登場人物の言葉である「神なき知恵は、知恵ある悪を育てる。」と「心を忘れた科学には、幸せを求める夢がない。」という言葉で講演を締めくくりました。

本校には来年度から始まる中高一貫教育、国際バカロレアの理念に沿った教育、国際探究科の新設など多くの課題がありますが、3名の先輩方の偉大な業績である「Art」が解決

のヒントになることを感じる事ができた講演でした。

最後になりますが、
このような場を設けて
いただいた津島ロータ
リークラブと津島神社



の関係者の皆さま、また、この講演会に御参加いただいた皆様に感謝申し上げます。これ
からも新しくなる津島高校をよろしく願いいたします。

教頭 金澤 学